

R2年度 那覇市様式

第5学年 外国語科学習指導案

令和 年 月 日 () 校時 : ~
 () 学校 年 組 名
 指導者

年間指導計画 (5) 学年 () 月計画 P ()

1 単元の概要

単元・教材名等	We Can ! 1 Unit 2 「When is your birthday ?」	内容のまとめとは、学習指導要領に示す目標に示されている「五つの領域」のこと
内容のまとめ	「聞くこと」ア 「話すこと[やりとり]」ウ 「書くこと」ア	
単元の目標	相手のことをよく知るために相手の誕生日や好きなもの、欲しいものなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、誕生日や好きなもの、ほしいものなどについて伝え合ったりできる。また、アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。 ※なお、本単元における「書くこと」については、目標に向けて指導は行うが、本単元内で記録に残す評価は行わない。	(知識及び技能) (思考・判断・表現等) (学びに向かう力、人間性等)に分けて記載してもよい。

2 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<知識> 月日の言い方や I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want? When ~?, その答え方について理解している。 <技能> 誕生日や好きなもの欲しいものなどを聞き取る技能を身につけている。 文末「～している」	相手をよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて短い話の概要を捉えている。 文末「～している」	相手をよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて短い話の概要を捉えようとしている。 文末「～しようとしている」
話すことや取り扱い	<知識> 月日の言い方や I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want? When ~?, その答え方について理解している。 <技能> 知識を使って、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて I like/want ~. Do you like/want ~? What do you like/want?などを用いて、考え方や気持ちを伝え合うために必要な技能を身につけている。 文末「～している」	相手をよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考え方や気持ちなどを伝え合っている。 文末「～している」	相手をよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて簡単な語句や基本的な表現を用いてお互いの考え方や気持ちなどを伝え合おうとしている。 文末「～しようとしている」

3 単元について

(1)児童(生徒)観

レディネステスト等の結果などから、今までの学習で身に付いている資質や能力不十分な点について記述する。

- 単元で身に付けさせたい力に対する実態把握について記述する。
- どこでどのようなつまずき(課題)があるかを分析し、指導観に記載する手立てと連動する。

(2)教材観

単元目標と関連させ、本単元の学習課題を明確にして記述する。

- 学習指導要領との関連を示す。
- 単元(題材)の学習内容と、そのねらいを記述する。
- 適切な単元の構成内容であることを記述する。

(3)指導観

ねらい達成に向けて、どこで、どのように手立てをするのか、指導のポイントを記述する。

- (1)(2)の記述を踏まえ、子どもの不十分な点を補う手立てを具体的に記述する。
- 目標に照らしてその実現状況を観点ごとにどのように評価するのかを記述する。

時	○主な学習活動	指導上の留意点	評価規準と評価方法
1	○月の言い方を知り、字体の大文字を書く。 ・Small talk : 好きなもの ・Let's Watch and Think 1 ・Let's Listen 1 誌面にある行事は何月かを予想し、音声教材を聞いて聞こえた音について教師とやり取りしながら答えを確かめる。	児童生徒の課題を踏まえ、言語活動を通して、指導事項を指導することを明確にした単元づくりをする。 月名についての聞き取りが不十分な児童がいる場合は、次の活動や第2時の Small Talk で不十分な月名を扱うようとする。	【知・技】《形》 「聞くこと」 ・行動観察 月日の言い方や好きなものや欲しいものの尋ね方や答え方について理解しているかを確認する。
2	○月名を聞いたり言ったりとともに、日付の言い方を知る。また、アルファベットの活字体の大文字を書く。 ・Small Talk : 誕生日 ・Let's Watch and Think 2 世界の行事名とそれが開催される月日、また、それがどのような行事かの説明を聞く。 ・Let's Read and Write ・Sounds and Letters(Y,V,X)	月名についての理解が不十分な児童がいる場合は、次の【Let's Watch and Think 2】の答え合わせで月名を表す英語各時の学習内容をみるとする観点を記載する。 【知・技】 【思・判・表】	【知・技】《形》 「聞くこと」「話すこと(やり取り)」 ・行動観察 ・テキストの記述 月日の言い方や好きなものや欲しいものの尋ね方や答え方について理解しているかを確認する。
3	○誕生日や好きなものを聞き取る。また、アルファベットの活字体の大文字を書く。 ・Small Talk : 誕生日と誕生日プレゼント ・Let's Listen 3 音声を聞いて登場人物のイラストと誕生日を線で結ぶ。誕生日について指導者の質問に答えたり尋ねたりする。 ・Let's Watch and Think 3 登場人物の Haruto と Hana が好きなものを聞き取る。誕生日や好きなものについて指導者の質問に答えたり尋ねたり ・Let's Read and Write ・Sounds and Letters(F,N,L,K)	☆児童が聞き取れていなかったり記述をもとに児童の評価の記録を残す。 誕生日を聞き取れていない児童がいる場合は、【Let's Chant】を再度設定し、歌詞をその誕生日に替えて行うようする。 好きなものが聞き取れていない児童がいる場合は次時の活動において指導者が繰り返し好きなもの欲しいものを言い、十分に表現を聞かせるようする。	【知・技】《総》 「聞くこと」 ・行動観察 ・テキストの記述 誕生日を聞き取っているかを評価する。
4		確認する《形成的評価》または記録する《総括的評価》のどちらかを計画し記載する	【知・技】《総》 「聞くこと」 ・行動観察 ・テキストの記述 好きなものを聞き取っているかを評価する。
5			
6	○相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合う。また、アルファベットの活字体の大文字を書く。 ・Small Talk ・Let's Chant ・Let's Read and Write ・Activity ペアでバースデーカードをもとに好きなものや欲しいものについて会話をする。	やり取りが十分にできている児童を優先に観察し、記録に残す。	【思・判・表】《総》 「話すこと(やり取り)」 ・行動観察 相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っているかを評価する。
7		第6時で「話すこと(やり取り)」が不十分だった児童が相手に尋ねたり答えたりして改善されていた場合は記録に残す。	【思・判・表】《総》 「話すこと(やり取り)」 ・行動観察 相手のことをよく知るために、誕生日や好きなもの欲しいものなどについて尋ねたり答えたりして伝え合っているかを評価する。

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

5 本時の学習指導について

(1) 本時の目標

- ・1つか2つにしぼっているか。
- ・単元目標と合致しているか。

本時の授業のどこで、どのような指導の在り方や方法を提案しようとしているのか、学習指導要領を踏まえて簡潔にまとめる。

(2) 授業仮説

「○○○において、
場・内容の限定
○○○すれば、
投入条件
方法・手立て
○○○になるであろう。」
身に付けさせたい力（資質・能力）
ねらい・めざす子ども

(3) 本時の展開（第○時）

教材研究や授業展開に沿ってマイノートを活用し、検討する。

	学習活動	指導上の留意点 ○教師の手立て □予想される児童（生徒）の反応	評価項目（方法）
導入（）分	1 具体的な学習活動について、児童生徒の立場から記述する。	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・本時の目標を確認し、児童生徒に学習の見通しをもたせるような、「めあて」を児童生徒向けの言葉で提示する。 ・児童生徒の学習意欲を促すような資料、問題提示の工夫する。	単元の評価規準を具体化し、本時において1～2観点を評価する。 (「形成的評価」又は「総括的評価」を記載)
展開（）分	2 めあて		「話すこと（やり取り）」 【思・判・表】 《総》 〈概ね満足〉 (記入例) 相手のことをよく知るという目的や場面・状況などに応じて既習の表現を使って誕生日や好きなものなどについて尋ねたり答えたりしている。
（1）	3 外国語で自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を取り入れる。	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。 ・予想される児童生徒の反応と、それに対応した教師の手立てを順序立てて記述する。 ・支援を要する児童生徒のつまずきとそれに対応した教師の手立てを書く。	〈十分満足〉 (記入例) 相手のことをよく知るという目的・場面・状況等に応じて、カードにないことについても尋ねたり、相手の回答に対して自分の気持ちなどを伝えている。 (行動観察)
（2）	（3） 〔支援を要する児童生徒への手立て〕 (記入例) 改善点について振り返りシート等でアドバイスしたり、口頭で伝えたりする。また第7時の【Activity 2】で行動観察を行い、再度評価を行って記録に残すようにする。		
まとめ（）分	4 「めあて」と正対した「まとめ」について記述する。今日の授業で「何を学んだか」を明確にする。児童生徒の言葉を生かしてまとめる。 ※板書に限らず、使用した英語表現を確認したり、学んだことを口頭で発表したりしてまとめてよい。	○下記の項目を参考にして適宜記載しましょう。	どの観点で どのような方法で評価するのかを記載する。
（3）	5 振り返り 本時の学習で分かったことやできるようになったこと、次の課題などについて、児童生徒に振り返らせる。		

板書計画も含めてA4 4ページで作成して下さい。

(4) 板書計画（写真も可・項目だけでなく、実際に板書することを書く・ICT機器の活用について）